

1 環境学習・環境保全活動の実施状況(平成 26 年)

1. 調査について

○調査目的

滋賀県内で、様々な主体が実施する「環境学習に関する取組や環境保全活動等のイベントや催し等」(以下、「環境学習関連イベント等」という。)の実施状況を把握することを目的としました。

○事業実施対象期間

平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日

○調査対象(情報元)

対象期間中に発行された次のメールマガジンや広報誌上に掲載された情報を収集しました。

- (1) 滋賀の環境学習メールマガジン「そよかぜ」(琵琶湖博物館環境学習センター発行)
- (2) 「滋賀プラスワン」(滋賀県広報誌)
- (3) 県内各市町の広報誌(19 市町)

○調査方法

メールマガジンや広報誌に掲載されている催しの開催案内、参加者募集や実施報告などから環境学習関連イベント等を抽出しました。

○抽出件数

1,559 件 (単日で行われる環境学習関連イベント等は 1 件として、展示などある一定の期間中開催される環境学習関連イベント等は、その期間で 1 件としてカウントしています。ただし、月をまたがって開催されたものは、両方の月でそれぞれ 1 件としてカウントしているため、図表 3 などの月別実施件数は 1,763 件となっています。)

○主な調査内容

以下のように 7 つの属性分類で整理しました。

属性の分類

(1) 実施主体

①行政、②環境学習施設*1、③NPO・地域団体、④企業、⑤学校、⑥その他

(2) 実施時期

開催した月

(3) 対象者

①一般(大人向け)、②一般(子ども向け)、③一般(親子)*2、④一般(制限なし)、⑤リーダー等

(4) 実施地域

①大津地域(大津市)、②南部地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)、
③甲賀地域(甲賀市、湖南市)、④東近江地域(東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町)、
⑤湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)、⑥湖北地域(米原市、長浜市)、
⑦高島地域(高島市)、⑧琵琶湖上、⑨県外、⑩その他

(5) 環境学習や活動の分野 <分野別区分の詳細は章末の参考 1 を参照してください。>

①森林・里山、②いきもの、③水環境、④琵琶湖、⑤大気、⑥空、⑦廃棄物・リサイクル、
⑧地球環境、⑨地球温暖化防止、⑩エネルギー、⑪産業と環境、⑫歴史と環境、⑬食と農、
⑭生活と環境、⑮その他

(6) 実施場所

①屋外(湖・川)、②屋外(森・山)、③屋外(田畑・野原)、④屋外(まち・里)、⑤屋内

(7) 環境学習や活動の形態 <形態別区分の詳細は章末の参考 2 を参照してください。>

①体験(観察・調査)、②体験(実習・ボランティア)、③体験(ものづくり)、④講演・討論、
⑤発表・交流・展示

*1 環境学習施設・・・ここでは、博物館や自然体験施設等をいいます。(例：滋賀県立琵琶湖博物館、栗東自然観察の森、彦根市荒神山自然の家等)

*2 平成 25 年以降、従来の②一般(子ども向け)から③一般(親子)を分離して 5 区分に変更しました。

2. 主な調査結果

結果① 実施主体別の実施状況

環境学習関連イベント等は、「行政」、「環境学習施設」、「NPO・地域団体」の主体順に多く実施されています。平成 25 年調査結果と比べて総実施件数は減少していますが、「行政」による実施件数は増加しています。

結果② 月別の実施状況

7月から11月に多くの環境学習関連イベント等が実施されています。10月から12月の実施件数が増えました。

結果③ 対象者別の実施状況

対象者の制限を設けていない「一般(制限なし)」の環境学習関連イベント等が全体の7割以上を占めています。平成 25 年調査結果と比べて「一般(親子)」を対象とするイベント等が増加しました。

結果④ 実施地域別の実施状況

環境学習関連イベント等は「南部地域」で最も多く実施されています。平成 25 年調査結果と比べて、「大津地域」、「県外」における実施件数が増加しています。

結果⑤ 分野別の実施状況

「森林・里山」、「いきもの」、「廃棄物・リサイクル」、「食と農」に関する環境学習関連イベント等が多く実施されています。「森林・里山」および「廃棄物・リサイクル」に関する分野での実施件数が増加しています。

結果⑥ 実施場所別の実施状況

「屋内」と「屋外」で実施されている環境学習関連イベント等の件数は同じくらいです。「屋外」では「森・山」で最も多く実施されています。

結果⑦ 実施形態別の実施状況

「体験(観察・調査)」、「体験(実習・ボランティア)」、「体験(ものづくり)」など、実際の体験を通じた環境学習関連イベント等が多く実施されています。



森林やリサイクルの分野の実施件数は多い一方、依然としてエネルギーや温暖化の分野は少ない状況であり、今後も低炭素社会づくりに向けた環境学習の推進が必要であることが分かりました。また、体験を通じた環境学習関連イベント等が全体を占める割合も徐々に増加し、平成 26 年調査においても全体の 7 割近くを占めており、体験の重要性の認識が深まっていることが分かります。

3. 調査結果の概要

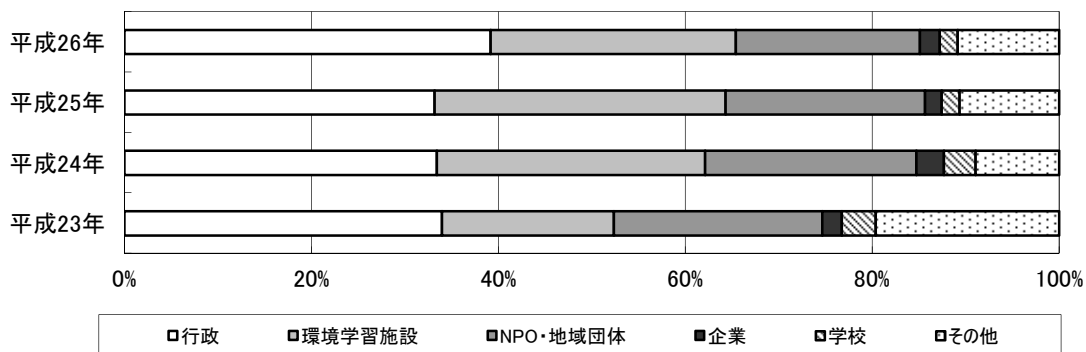
(1) 実施主体別の実施状況

結果① 環境学習関連イベント等は、「行政」、「環境学習施設」、「NPO・地域団体」の主体順に多く実施されています。平成 25 年調査結果と比べて総実施件数は減少していますが、「行政」による実施件数は増加しています。

(図表 1)

実施主体	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
行政	611	39.2%	521	33.2%	497	33.4%	500	34.0%
環境学習施設	409	26.2%	489	31.2%	427	28.7%	271	18.4%
NPO・地域団体	307	19.7%	335	21.3%	336	22.6%	328	22.3%
企業	33	2.1%	28	1.8%	44	3.0%	31	2.1%
学校	30	1.9%	30	1.9%	50	3.4%	53	3.6%
その他	169	10.8%	167	10.6%	133	8.9%	289	19.6%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 2)



実施主体別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 1 および図表 2 のとおりです。「行政」が全体の 3 分の 1 以上を占め、次いで「環境学習施設」、「NPO・地域団体」の主体順に多く実施されています。「その他」の実施主体は、観光協会、協議会、各種実行委員会などとなっています。平成 25 年調査結果と比較して総実施件数は減少していますが、「行政」による実施件数は増加しています。

(2) 月別の実施状況

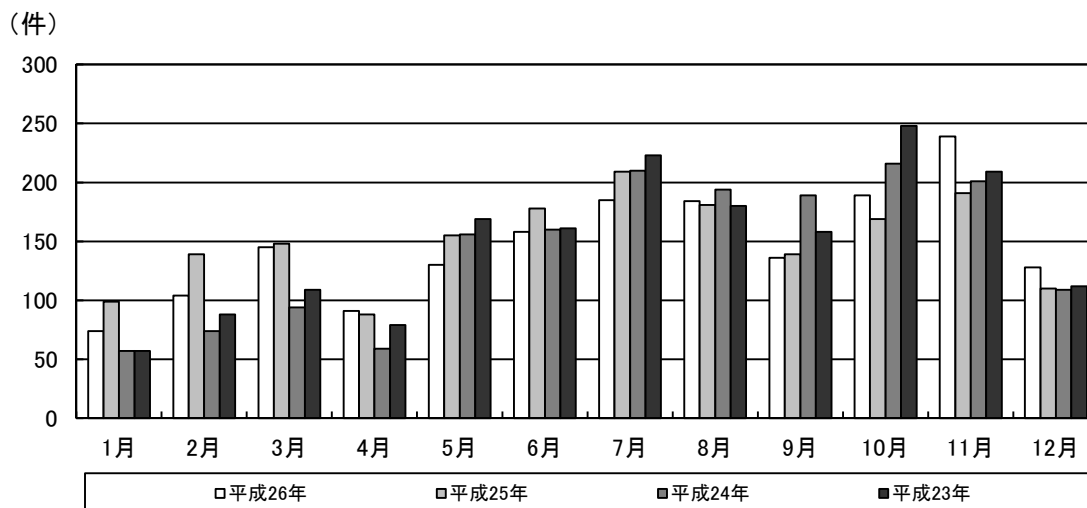
結果② 7月、8月、10月および11月に多くの環境学習関連イベント等が実施されています。10月から12月の実施件数が増えました。

(図表 3)

開催月	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1月	74	4.2%	99	5.5%	57	3.3%	57	3.2%
2月	104	5.9%	139	7.7%	74	4.3%	88	4.9%
3月	145	8.2%	148	8.2%	94	5.5%	109	6.1%
4月	91	5.2%	88	4.9%	59	3.4%	79	4.4%
5月	130	7.4%	155	8.5%	156	9.1%	169	9.4%
6月	158	9.0%	178	9.8%	160	9.3%	161	9.0%
7月	185	10.5%	209	11.6%	210	12.2%	223	12.4%
8月	184	10.4%	181	10.0%	194	11.3%	180	10.0%
9月	136	7.7%	139	7.7%	189	11.0%	158	8.8%
10月	189	10.7%	169	9.4%	216	12.6%	248	13.8%
11月	239	13.6%	191	10.6%	201	11.7%	209	11.7%
12月	128	7.3%	110	6.1%	109	6.3%	112	6.3%
合計	1,763	100%	1,806	100%	1,719	100%	1,793	100%

※単日で行われる環境学習関連イベント等は1件として、展示などある一定の期間中開催される環境学習関連イベント等は、その期間で1件としてカウントしています。ただし、月をまたがって開催されたものは、両方の月でそれぞれ1件としてカウントしています。

(図表 4)



開催月別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 3 および図表 4 のとおりです。開催月別に見ると、7月、8月と10月、11月に実施されている件数が比較的多くなっています。過去の調査と比較すると、10月から12月の実施件数が増加しています。

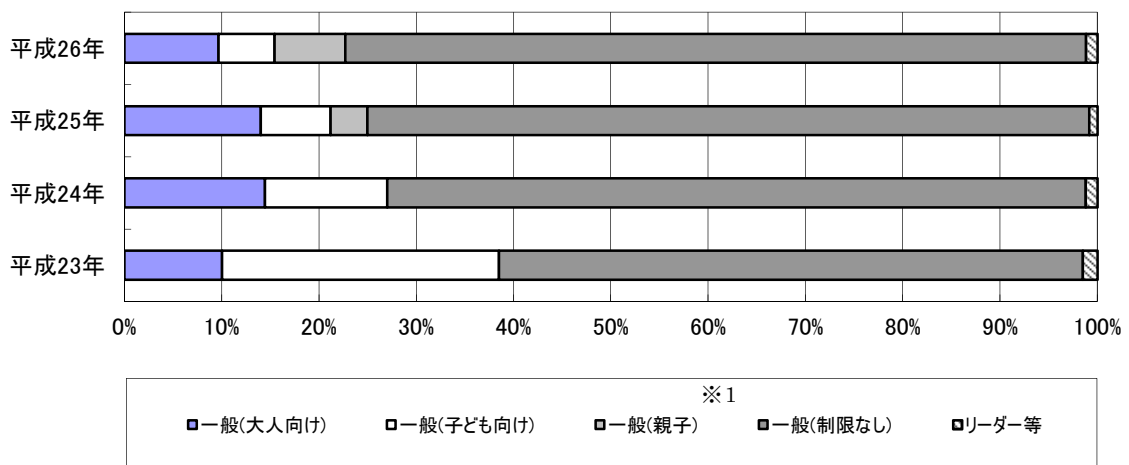
(3) 対象者別の実施状況

結果③ 対象者の制限を設けていない「一般(制限なし)」の環境学習関連イベント等が全体の7割以上を占めています。平成25年調査結果と比べて「一般(親子)」を対象とするイベント等が増加しました。

(図表 5)

対象者	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
一般(大人向け)	151	9.7%	220	14.0%	215	14.5%	148	10.0%
一般(子ども向け)	90	5.8%	113	7.2%	187	12.6%	419	28.5%
一般(親子) ※1	113	7.2%	59	3.8%	—	—	—	—
一般(制限なし)	1,187	76.1%	1,165	74.2%	1,067	71.7%	883	60.0%
リーダー等	18	1.2%	13	0.8%	18	1.2%	22	1.5%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 6)



※1 平成25年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して5区分に変更しました。

対象者別の環境学習関連イベント等の実施状況は、図表5および図表6のとおりです。特に対象者の制限を設けていない「一般(制限なし)」の環境学習関連イベント等が全体の7割以上を占めており、次いで「一般(大人向け)」の環境学習関連イベント等が多く実施されています。また、平成25年調査結果と比べると、「一般(親子)」を対象とするイベント等が増加しています。

(4) 地域別の実施状況

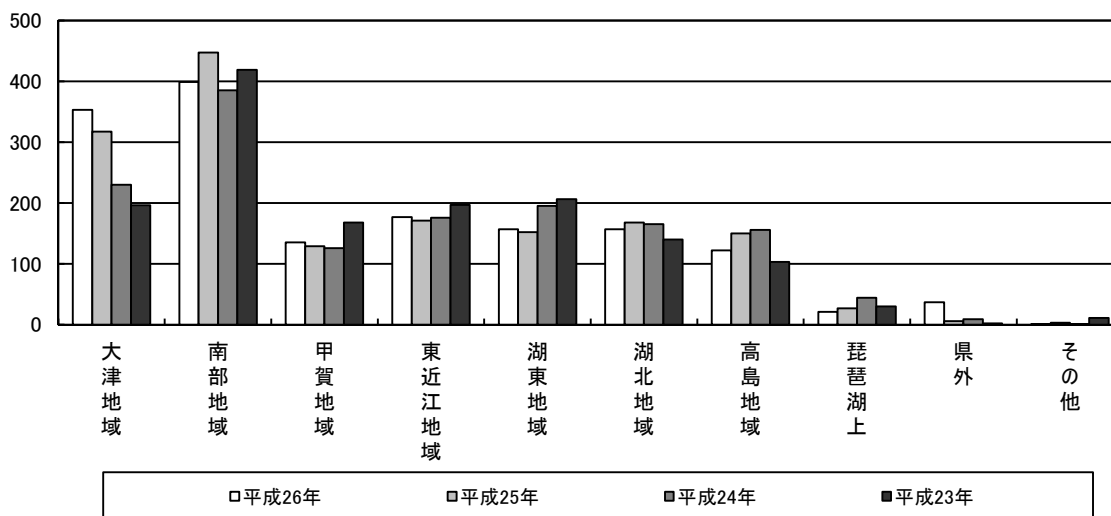
結果④ 環境学習関連イベント等は「南部地域」で最も多く実施されています。平成25年調査結果と比べて、「大津地域」、「県外」における実施件数が増加しています。

(図表 7)

実施地域	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
大津地域	353	22.6%	317	20.2%	230	15.5%	196	13.3%
南部地域	399	25.6%	447	28.5%	385	25.9%	419	28.5%
甲賀地域	135	8.7%	129	8.2%	126	8.5%	168	11.4%
東近江地域	177	11.4%	171	10.9%	176	11.8%	197	13.4%
湖東地域	157	10.1%	152	9.7%	195	13.1%	206	14.0%
湖北地域	157	10.1%	168	10.7%	165	11.1%	140	9.5%
高島地域	122	7.8%	150	9.5%	156	10.5%	103	7.0%
琵琶湖上	21	1.3%	27	1.7%	44	2.9%	30	2.0%
県外	37	2.4%	6	0.4%	9	0.6%	2	0.1%
その他	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%	11	0.8%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 8)

(件)



実施地域別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 7 および図表 8 のとおりです。「南部地域」で 399 件と最も多く実施されており、全体の 4 分の 1 以上を占めています。平成 25 年調査結果と比べて「大津地域」での実施件数は増加しましたが、「南部地域」では減少しました。しかし、依然として「大津地域」と「南部地域」で全体の約半分を占めています。

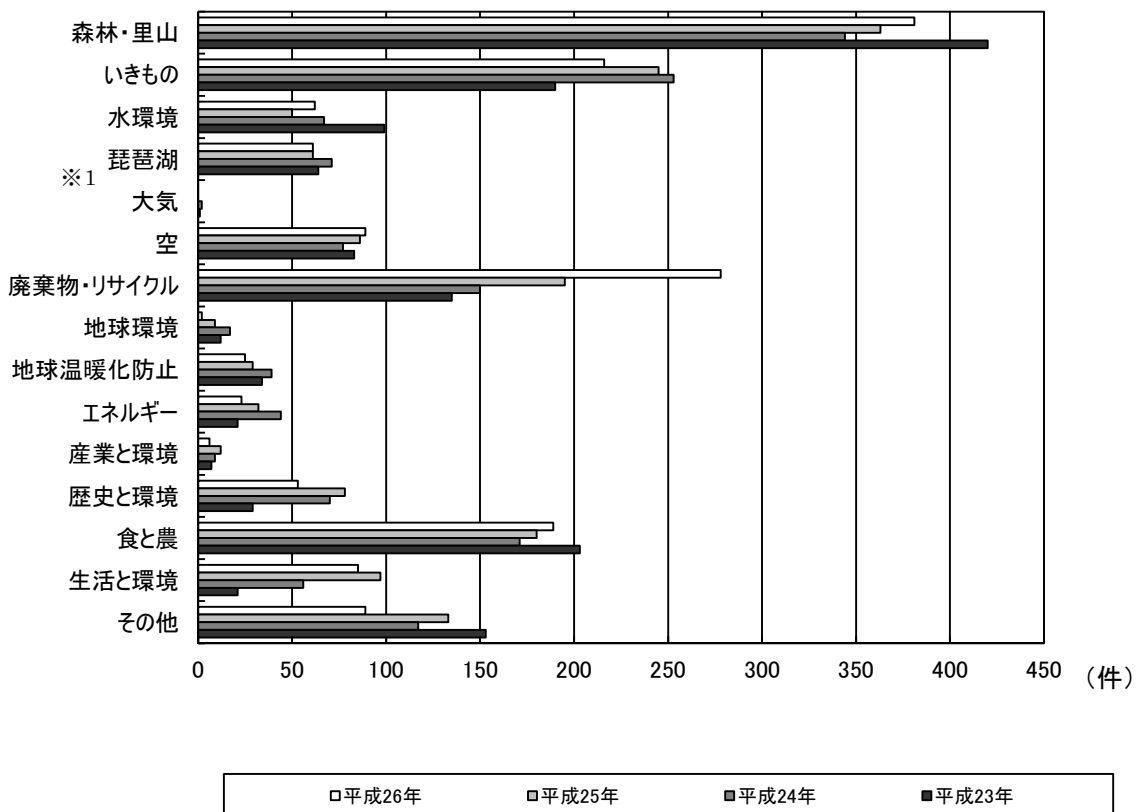
(5) 分野別の実施状況

結果⑤ 「森林・里山」、「いきもの」、「廃棄物・リサイクル」、「食と農」に関する環境学習関連イベント等が多く実施されています。「森林・里山」および「廃棄物・リサイクル」に関する分野での実施件数が増加しています。

(図表 9)

分野	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
森林・里山	381	24.4%	363	23.1%	344	23.1%	420	28.5%
いきもの	216	13.9%	245	15.6%	253	17.0%	190	12.9%
水環境	62	4.0%	50	3.2%	67	4.5%	99	6.7%
琵琶湖	61	3.9%	61	3.9%	71	4.8%	64	4.4%
大気 ※1	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	1	0.1%
空	89	5.7%	86	5.5%	77	5.2%	83	5.6%
廃棄物・リサイクル	278	17.8%	195	12.4%	150	10.1%	135	9.2%
地球環境	2	0.1%	9	0.6%	17	1.1%	12	0.8%
地球温暖化防止	25	1.6%	29	1.8%	39	2.6%	34	2.3%
エネルギー	23	1.5%	32	2.0%	44	3.0%	21	1.4%
産業と環境	6	0.4%	12	0.8%	9	0.6%	7	0.5%
歴史と環境	53	3.4%	78	5.0%	70	4.7%	29	2.0%
食と農	189	12.1%	180	11.4%	171	11.5%	203	13.8%
生活と環境	85	5.5%	97	6.2%	56	3.8%	21	1.4%
その他	89	5.7%	133	8.5%	117	7.9%	153	10.4%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 10)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成26年の件数をゼロとしました。

分野別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 9 および図表 10 のとおりです。「森林・里山」、「いきもの」、「廃棄物・リサイクル」、「食と農」に関する分野での環境学習関連イベント等が多く実施されています。また、「森林・里山」および「廃棄物・リサイクル」に関する分野での実施件数が、平成 25 年調査結果と比べて増加しています。なお、「産業と環境」、「地球環境」に関する分野での実施件数は、過去の調査結果と同様に少なくなっており、「大気」については調査対象（情報元）に掲載がなかったため件数をゼロとしています。

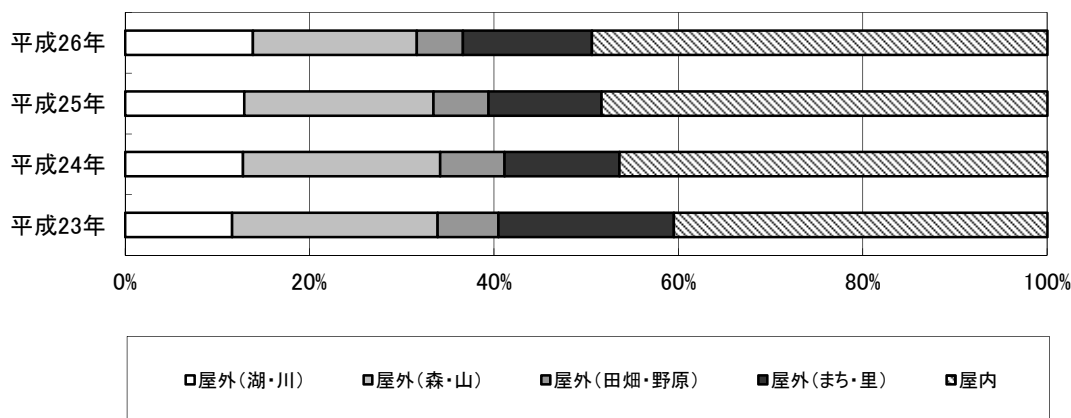
(6) 実施場所別の実施状況

結果⑥ 「屋内」と「屋外」で実施されている環境学習関連イベント等の件数は同じくらいです。「屋外」では「森・山」で最も多く実施されています。

(図表 11)

実施場所	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
屋外(湖・川)	216	13.9%	203	12.9%	190	12.8%	171	11.6%
屋外(森・山)	277	17.8%	322	20.5%	318	21.4%	328	22.3%
屋外(田畑・野原)	78	5.0%	94	6.0%	104	7.0%	97	6.6%
屋外(まち・里)	218	14.0%	192	12.2%	185	12.4%	280	19.0%
(屋外合計)	(789)	(50.6%)	(811)	(51.6%)	(797)	(53.6%)	(876)	(59.5%)
屋内	770	49.4%	759	48.4%	690	46.4%	596	40.5%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 12)



実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 11 および図表 12 のとおりです。「屋内」で実施している環境学習関連イベント等が、件数としても割合としても増えてきて、「屋外」と同じくらいになっています。「屋外」での実施場所別にみると「森・山」が 277 件と最も多く実施されています。

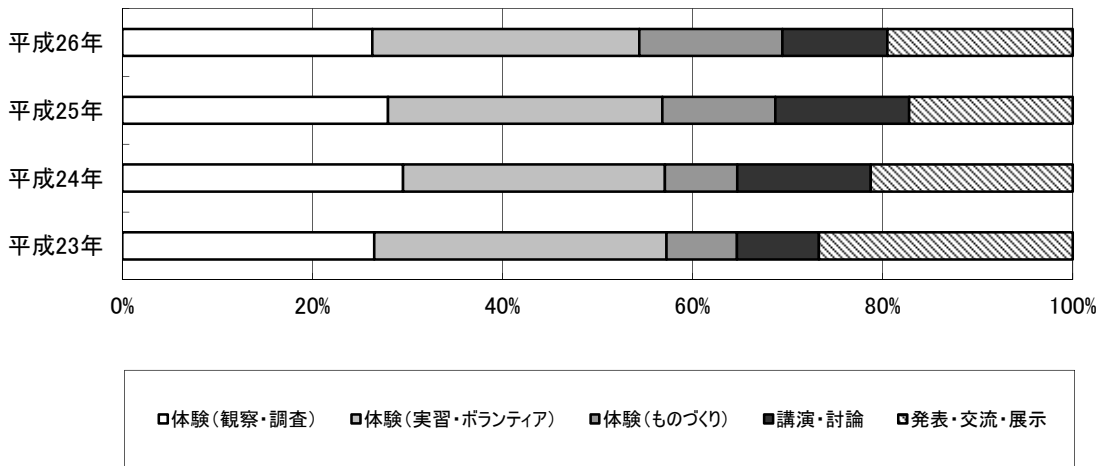
(7) 実施形態別の実施状況

結果⑦ 「体験(観察・調査)」、「体験(実習・ボランティア)」、「体験(ものづくり)」など、実際の体験を通じた環境学習関連イベント等が多く実施されています。

(図表 13)

実施形態	平成26年		平成25年		平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
体験(観察・調査)	410	26.3%	439	28.0%	439	29.5%	390	26.5%
体験(実習・ボランティア)	438	28.1%	453	28.8%	410	27.6%	453	30.8%
体験(ものづくり)	235	15.1%	187	11.9%	113	7.6%	109	7.4%
講演・討論	172	11.0%	221	14.1%	209	14.1%	127	8.6%
発表・交流・展示	304	19.5%	270	17.2%	316	21.2%	393	26.7%
合計	1,559	100%	1,570	100%	1,487	100%	1,472	100%

(図表 14)



実施形態別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 13 および図表 14 のとおりです。「体験(観察・調査)」、「体験(実習・ボランティア)」、「体験(ものづくり)」など、体験型の環境学習関連イベント等が多く実施されており、全体の7割近くを占めています。

(8) クロス集計

① 実施主体別開催状況のクロス集計

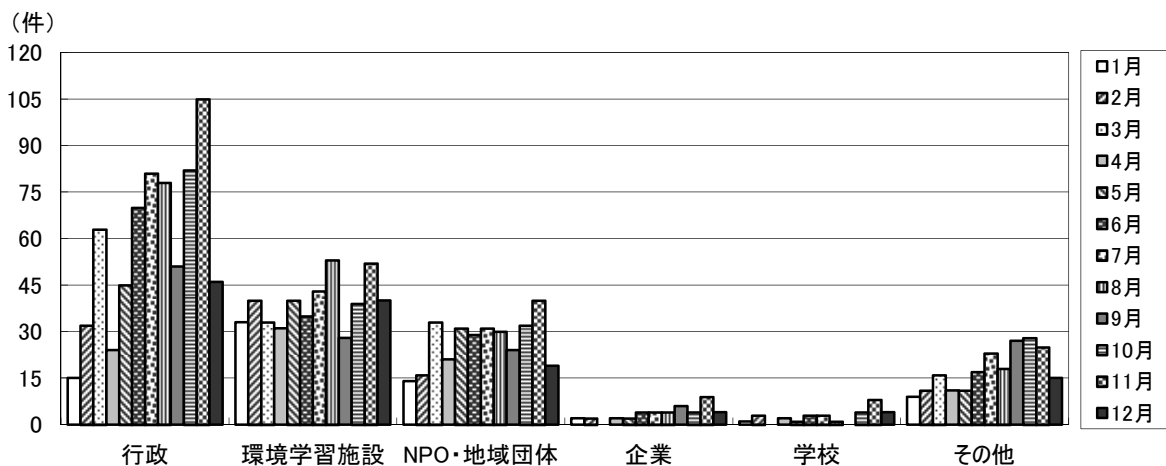
ア 実施主体別×開催月別の実施状況

実施主体別および開催月別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 15 から図表 17 のとおりです。7月、8月、10月および11月に環境学習関連イベント等が多く実施されています。一方で1月、2月および4月は環境学習関連イベント等の実施が少なくなっています。

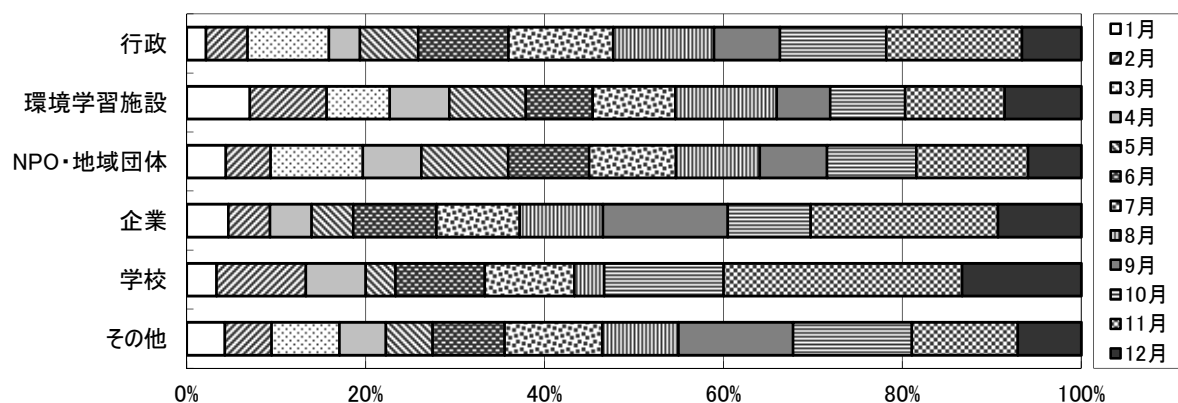
(図表 15)

実施主体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
行政	15	32	63	24	45	70	81	78	51	82	105	46	692
環境学習施設	33	40	33	31	40	35	43	53	28	39	52	40	467
NPO・地域団体	14	16	33	21	31	29	31	30	24	32	40	19	320
企業	2	2	0	2	2	4	4	4	6	4	9	4	43
学校	1	3	0	2	1	3	3	1	0	4	8	4	30
その他	9	11	16	11	11	17	23	18	27	28	25	15	211
合計(件)	74	104	145	91	130	158	185	184	136	189	239	128	1,763

(図表 16)



(図表 17)



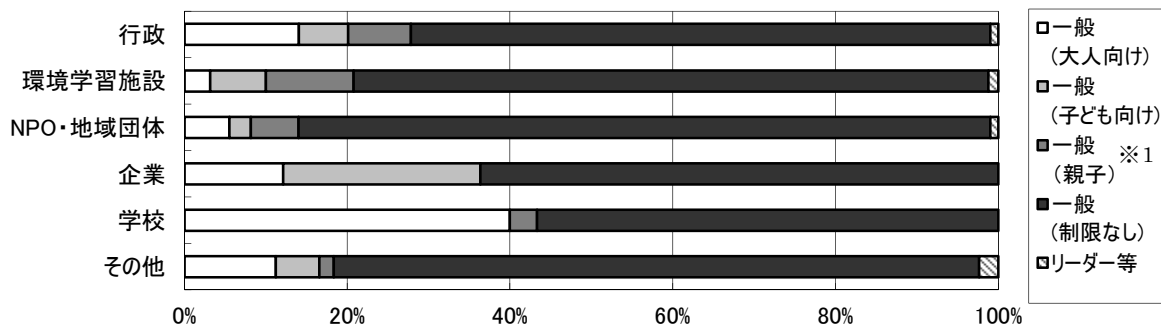
イ 実施主体別×対象者別の実施状況

実施主体別および対象者別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 18 および図表 19 のとおりです。すべての実施主体において、対象者に制限を設けない「一般(制限なし)」とする割合が高くなっています。

(図表 18)

実施主体	一般 (大人向け)	一般 (子ども向け)	一般 ※1 (親子)	一般 (制限なし)	リーダー等	合計(件)
行政	86	37	47	435	6	611
環境学習施設	13	28	44	319	5	409
NPO・地域団体	17	8	18	261	3	307
企業	4	8	0	21	0	33
学校	12	0	1	17	0	30
その他	19	9	3	134	4	169
合計(件)	151	90	113	1,187	18	1,559

(図表 19)



※1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

Column:「エコロシーが」ってな～に?

「エコロシーが」は、環境学習の企画やプログラムづくりをするときに役立つ情報を集めた環境学習のポータルサイトです。学習プログラムの事例、指導者、環境学習ができる施設(フィールド)、ビデオや図書教材、環境関連データ、リンク集などの情報を、滋賀県環境学習センターが県内を中心に収集し、一元的に提供しています。環境学習の場づくりを担う公民館・自治体の担当者、学校の先生、市民活動団体や企業の環境担当のみなさんが、地域や学校、職場で多様な学習機会を企画される際に、ぜひ「エコロシーが」の情報をご活用ください。「エコロシーが」に関するお問い合わせや環境学習の企画相談は、下記までご連絡ください。

琵琶湖博物館環境学習センター

〒 525-0001 草津市下物町 1091 琵琶湖博物館・事務学芸室内

Tel 077-568-4818/FAX 077-568-4850 E-mail ecolo@pref.shiga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.ecoloshiga.jp/>



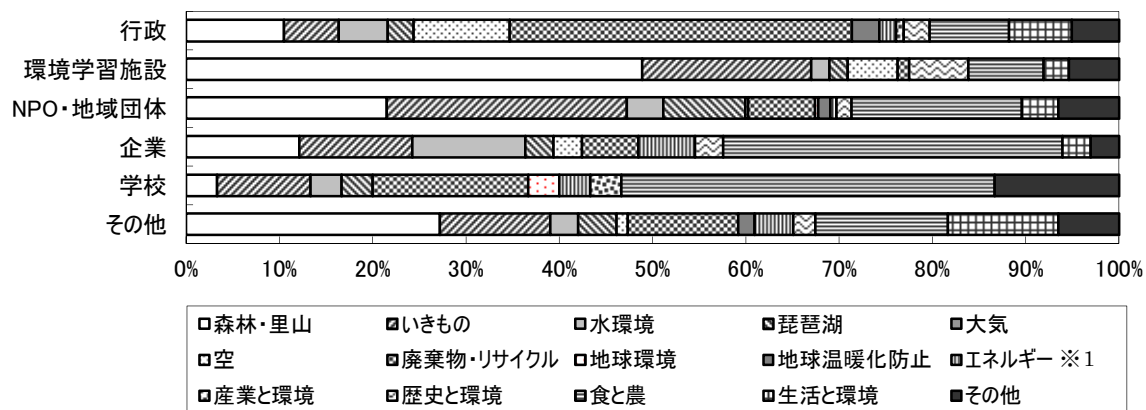
ウ 実施主体別×分野別の実施状況

実施主体別および分野別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 20 および図表 21 のとおりです。「行政」では「廃棄物・リサイクル」、「環境学習施設」では「森林・里山」、「NPO・地域団体」では「いきもの」、「企業」と「学校」では「食と農」の分野をテーマとした環境学習関連イベント等の実施割合が高くなっています。

(図表 20)

実施主体	森林・里山	いきもの	水環境	琵琶湖	大気 ※1	空	廃棄物・リサイクル	地球環境	地球温暖化防止	エネルギー	産業と環境	歴史と環境	食と農	生活と環境	その他	合計(件)
行政	64	36	32	17	0	63	224	0	18	11	5	17	52	41	31	611
環境学習施設	200	74	8	8	0	22	5	0	0	0	0	26	33	11	22	409
NPO・地域団体	66	79	12	27	0	1	22	1	4	2	0	5	56	12	20	307
企業	4	4	4	1	0	1	2	0	0	2	0	1	12	1	1	33
学校	1	3	1	1	0	0	5	1	0	1	1	0	12	0	4	30
その他	46	20	5	7	0	2	20	0	3	7	0	4	24	20	11	169
合計(件)	381	216	62	61	0	89	278	2	25	23	6	53	189	85	89	1559

(図表 21)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

Column: 環境学習をめぐる動き その① ~ 世界では… ~

環境学習の国際的な広がりや、昭和 47 年(1972 年)にストックホルムで開かれた国連人間環境会議に始まり、昭和 50 年(1975 年)にユーゴスラビアで開かれた国際環境教育ワークショップで採択された「ベオグラード憲章」において、環境学習の目標等が明確に示されました。

そして、平成 4 年(1992 年)に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された環境と開発に関する国連会議(地球サミット)で「アジェンダ 21」が採択され、その後、持続可能性に向けた教育が国際的に着手されてきています。

さらに、平成 14 年(2002 年)に、南アフリカ共和国のヨハネスブルグにおいて開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグサミット)」では、わが国が提案した「持続可能な開発のための教育(ESD)の 10 年」が実施計画に盛り込まれ、「国連 ESD の 10 年」の決議が国連総会において採択されるなど、持続可能な社会づくりという視点を積極的に取り入れ、そこから社会のあり方全体を変えていくという動きが国際的に進んでいます。

「国連 ESD の 10 年」の最終年にあたる平成 26 年(2014 年)には、日本において「ESD に関するユネスコ世界会議」が開催され、世界 150 か国・地域からの参加者により「ESD の 10 年」の成果の確認や今後の展開に向けての議論が行われました。

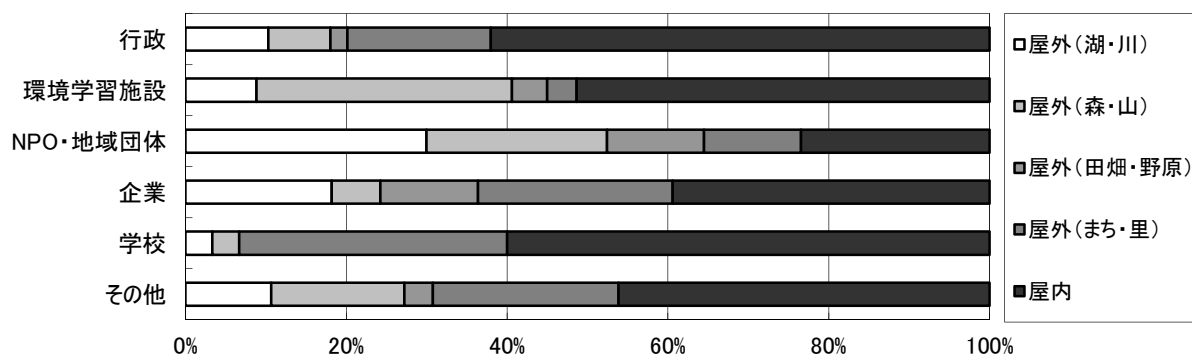
エ 実施主体別×実施場所別の実施状況

実施主体別および実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 22 および図表 23 のとおりです。「行政」、「学校」では「屋内」での実施割合が 6 割以上に、また「NPO・地域団体」と「企業」では「屋外」での実施割合が 6 割以上となっています。屋外で行われた環境学習関連イベント等の中では、「行政」が実施主体の場合には（まち・里）が多く、「環境学習施設」が実施主体の場合には（森・山）が多くなっています。

(図表 22)

実施主体	屋外 (湖・川)	屋外 (森・山)	屋外 (田畑・野原)	屋外 (まち・里)	(屋外合計)	屋内	合計(件)
行政	63	47	13	109	232	379	611
環境学習施設	36	130	18	15	199	210	409
NPO・地域団体	92	69	37	37	235	72	307
企業	6	2	4	8	20	13	33
学校	1	1	0	10	12	18	30
その他	18	28	6	39	91	78	169
合計(件)	216	277	78	218	789	770	1,559

(図表 23)



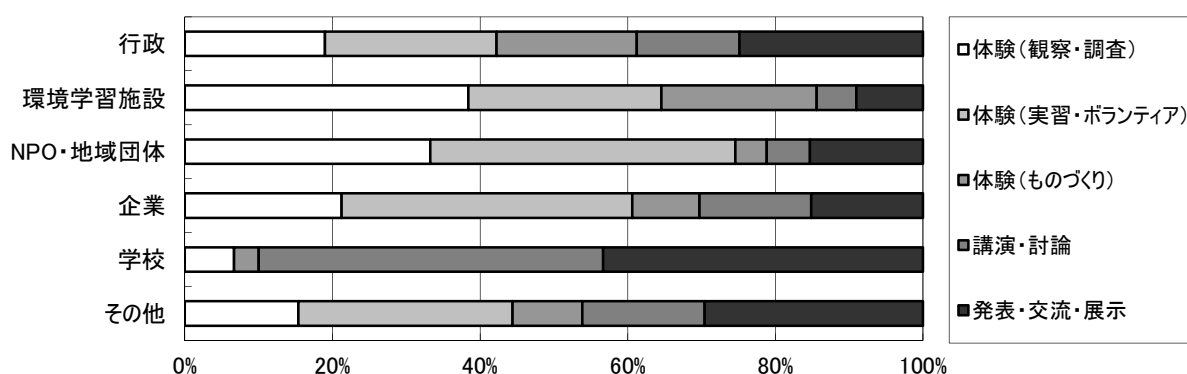
オ 実施主体別×実施形態別の実施状況

実施主体別および実施形態別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 24 および図表 25 のとおりです。「学校」以外の実施主体においては、体験型の環境学習関連イベント等の実施割合が 5 割以上となっています。

(図表 24)

実施主体	体験 (観察・調査)	体験 (実習・ボランティア)	体験 (ものづくり)	講演・討論	発表・交流・ 展示	合計(件)
行政	116	142	116	85	152	611
環境学習施設	157	107	86	22	37	409
NPO・地域団体	102	127	13	18	47	307
企業	7	13	3	5	5	33
学校	2	0	1	14	13	30
その他	26	49	16	28	50	169
合計(件)	410	438	235	172	304	1,559

(図表 25)



Column: 環境学習をめぐる動き その② ～ 滋賀県では… ～

本県では昭和 40 年代から、琵琶湖をはじめとする滋賀の豊かな自然環境を保全するため、県民一人ひとりの実践をもとにした環境美化活動が継続して行われてきました。

平成 8 年(1996 年) 3 月に制定された滋賀県環境基本条例で、県民等による環境の保全のための行動を促進する施策として環境学習を位置付けました。また、平成 26 年(2014 年) 10 月に策定された第四次滋賀県環境総合計画においては、基本目標の一つ目に、主体性を持って行動することのできる人育てを掲げています。さらに、同月に設置した「滋賀県環境学習等推進協議会」では、環境学習の推進に関する計画の改定などに向けて NPO や教育関係者、行政など多様な主体による検討が進められています。

② 月別開催状況のクロス集計

ア 開催月別×対象者別の実施状況

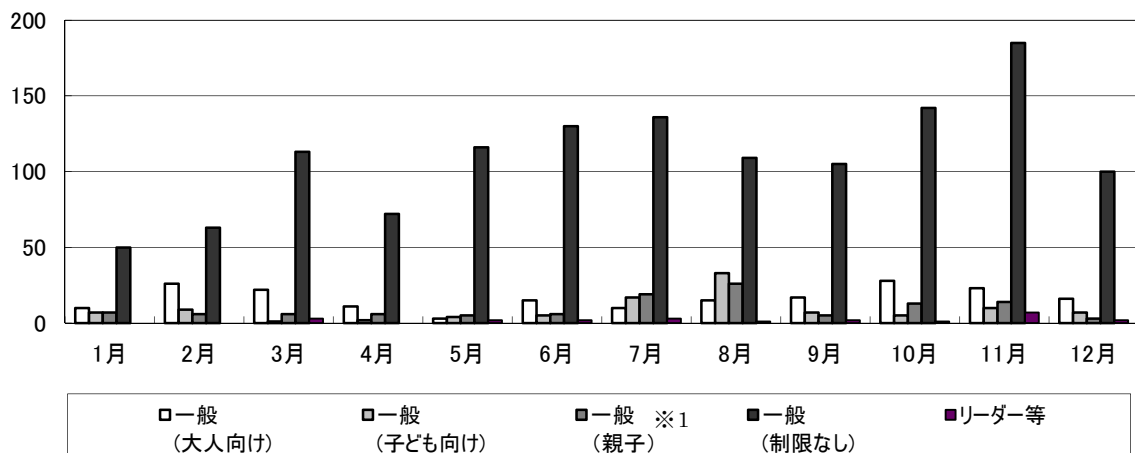
開催月別および対象者別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 26 および図表 27 のとおりです。「一般（制限なし）」の環境学習関連イベント等は、年間を通じて最も多く実施されており、中でも 6 月、7 月、10 月および 11 月が多くなっています。「一般(子ども向け)」および「一般（親子）」の環境学習関連イベント等は、夏休み期間中である 7 月と 8 月に比較的多く実施されています。「一般(大人向け)」の環境学習関連イベント等は 2 月と 10 月に多く実施されています。

(図表 26)

開催月	一般 (大人向け)	一般 (子ども向け)	一般 (親子) ※1	一般 (制限なし)	リーダー等	合計
1月	10	7	7	50	0	74
2月	26	9	6	63	0	104
3月	22	1	6	113	3	145
4月	11	2	6	72	0	91
5月	3	4	5	116	2	130
6月	15	5	6	130	2	158
7月	10	17	19	136	3	185
8月	15	33	26	109	1	184
9月	17	7	5	105	2	136
10月	28	5	13	142	1	189
11月	23	10	14	185	7	239
12月	16	7	3	100	2	128
合計	196	107	116	1,321	23	1,763

(図表 27)

(件)



※1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

イ 開催月別×実施場所別の実施状況

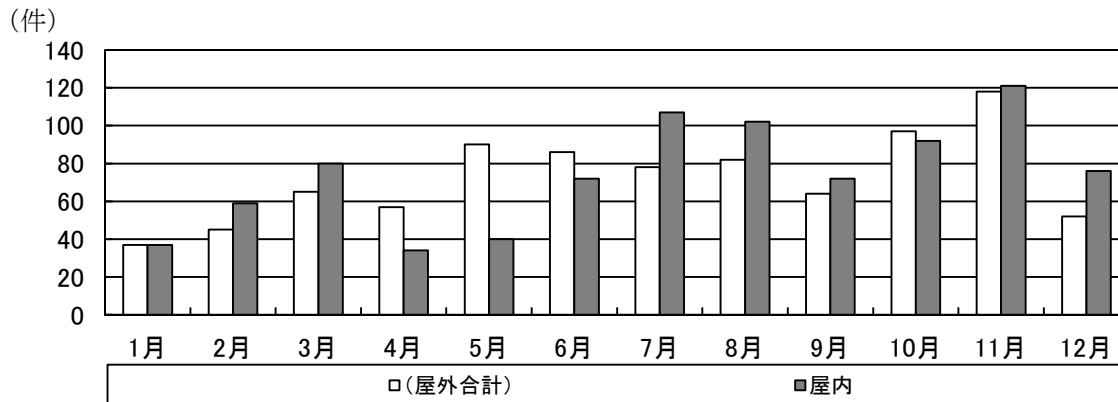
開催月別および実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 28 および図表 29 のとおりです。「屋外」では 5 月から 8 月と 10 月から 11 月に、「屋内」では 7 月、8 月および 11 月に環境学習関連イベント等が多く実施されています。

「屋外」を詳細に見ると、(湖・川)では 6 月から 8 月にかけて、(森・山)では 7 月、10 月および 11 月に環境学習関連イベント等が多く実施されています。(田畑・野原)では、5 月と 7 月に多くの環境学習関連イベント等が行われています。

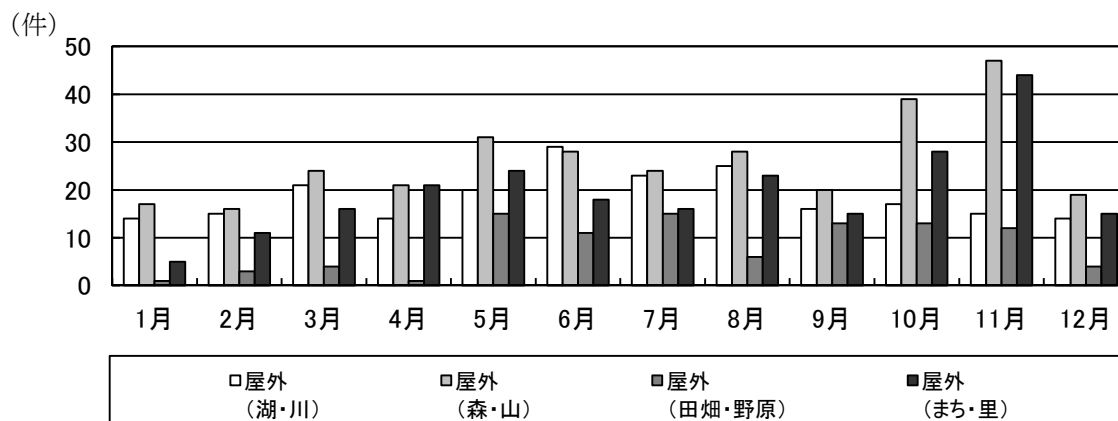
(図表 28)

開催月	屋外 (湖・川)	屋外 (森・山)	屋外 (田畑・野原)	屋外 (まち・里)	(屋外合計)	屋内	合計(件)
1月	14	17	1	5	37	37	74
2月	15	16	3	11	45	59	104
3月	21	24	4	16	65	80	145
4月	14	21	1	21	57	34	91
5月	20	31	15	24	90	40	130
6月	29	28	11	18	86	72	158
7月	23	24	15	16	78	107	185
8月	25	28	6	23	82	102	184
9月	16	20	13	15	64	72	136
10月	17	39	13	28	97	92	189
11月	15	47	12	44	118	121	239
12月	14	19	4	15	52	76	128
合計(件)	223	314	98	236	871	892	1,763

(図表 29-1)



(図表 29-2)



③ 対象者別開催状況のクロス集計

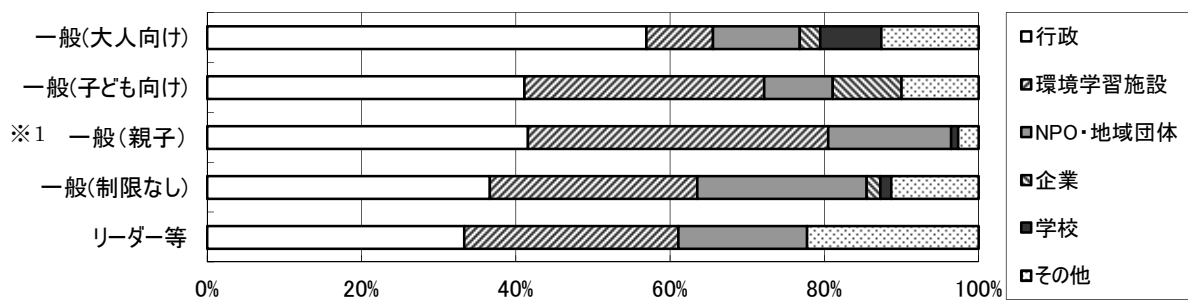
ア 対象者別×実施主体別の実施状況

対象者別および実施主体別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 30 および図表 31 のとおりです。「一般(大人向け)」のイベント等は「行政」が、「一般(子ども向け)」および「一般(親子)」のイベント等は「行政」と「環境学習施設」が実施する割合が高くなっています。すべての実施主体で、対象者の制限を設けていない「一般(制限なし)」の環境学習関連イベント等が、最も多く実施されています。

(図表 30)

対象者	行政	環境学習施設	NPO・地域団体	企業	学校	その他	合計(件)
一般(大人向け)	86	13	17	4	12	19	151
一般(子ども向け)	37	28	8	8	0	9	90
一般(親子) ※1	47	44	18	0	1	3	113
一般(制限なし)	435	319	261	21	17	134	1,187
リーダー等	6	5	3	0	0	4	18
合計(件)	611	409	307	33	30	169	1,559

(図表 31)



※1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

Column: びわこ地球市民の森 ～「エコロレーが」取材記録より(取材日 2015 年 1 月 12 日)～

守山市にある「びわこ地球市民の森」では、放水路の完成により廃川となった野洲川南流の一部を県民の皆さんとともに「豊かな森」として再生する取組が進められています。2001 年度のオープンからこれまでの 13 年間に、45,994 人の手によって苗木 160,967 本が約 8 万平方メートルに渡って植えられました。森は、場所によって 5 つのゾーンに分けられています。「つどいのゾーン」は交流のできる芝生の広場などがあり、「ふれあいゾーン」は、水辺の環境学習が行えるような湿地も合わせて整備されました。その後「出会いのゾーン」の植樹を進め、現在ビジターセンターである森づくりセンターのある「里の森ゾーン」へと進められました。「ふるさとゾーン」は今春(平成 27 年)オープンを目指して整備が進められています。

びわこ地球市民の森は環境学習や自然学習として、近隣の幼稚園、小学校、中学校、養護学校の受入れを行っており、ドングリを拾いながら森について学んでもらう機会をつくっています。クヌギやコナラだけでなくいろんなドングリが拾えます。また、夏の昆虫採集もオススメです。カブトムシやクワガタムシ、バッタ、チョウ、湿地もありますので、トンボも様々です。タヌキやキツネ、キジなどの野生動物も棲んでいます。

イ 対象者別×実施場所別の実施状況

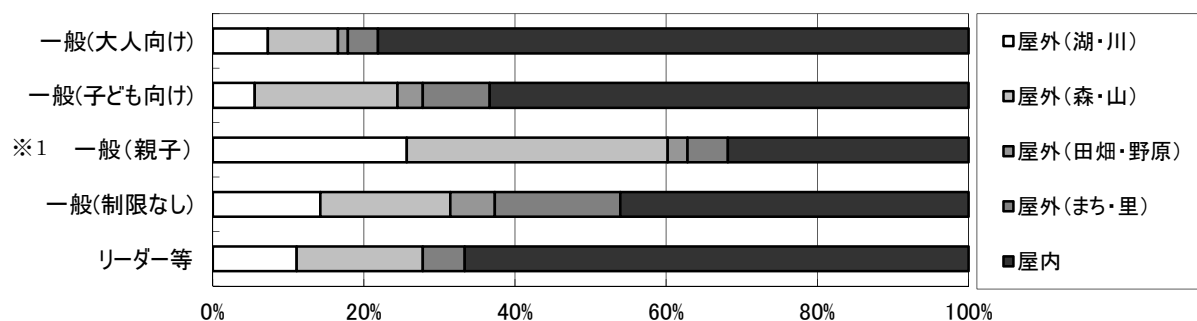
対象者別および実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 32 および図表 33 のとおりです。「一般(大人向け)」、「一般(子ども向け)」および「リーダー等」を対象にした環境学習関連イベント等は、「屋内」で実施される割合が高くなっています。

「一般(親子)」を対象とした環境学習関連イベント等は、「屋外(森・山)」で数多く実施されています。

(図表 32)

対象者	屋外 (湖・川)	屋外 (森・山)	屋外 (田畑・野原)	屋外 (まち・里)	(屋外合計)	屋内	合計(件)
一般(大人向け)	11	14	2	6	33	118	151
一般(子ども向け)	5	17	3	8	33	57	90
一般(親子) ※1	29	39	3	6	77	36	113
一般(制限なし)	169	204	70	197	640	547	1,187
リーダー等	2	3	0	1	6	12	18
合計(件)	216	277	78	218	789	770	1,559

(図表 33)



※1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

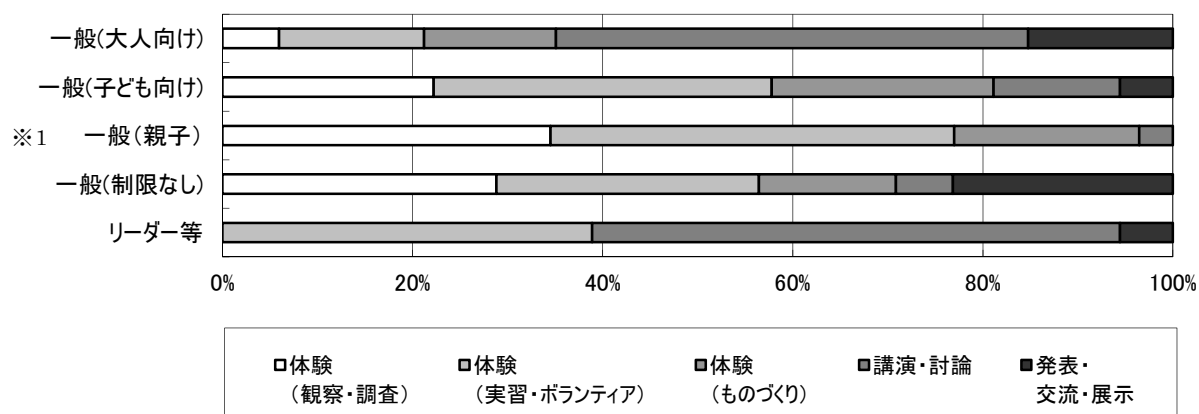
ウ 対象者別×実施形態別の実施状況

対象者別および実施形態別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 34 および図表 35 のとおりです。「一般(大人向け)」の環境学習関連イベント等では「講演・討論」形式のものが約 5 割となっています。「一般(子ども向け)」および「一般(親子)」を対象とした環境学習関連イベント等は、体験型の環境学習関連イベント等の割合が 8 割以上を占めています。

(図表 34)

対象者	体験 (観察・調査)	体験 (実習・ボランティア)	体験 (ものづくり)	講演・討論	発表・ 交流・展示	合計(件)
一般(大人向け)	9	23	21	75	23	151
一般(子ども向け)	20	32	21	12	5	90
一般(親子) ※1	39	48	22	4	0	113
一般(制限なし)	342	328	171	71	275	1,187
リーダー等	0	7	0	10	1	18
合計(件)	410	438	235	172	304	1,559

(図表 35)



※1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

④ 実施地域別開催状況のクロス集計

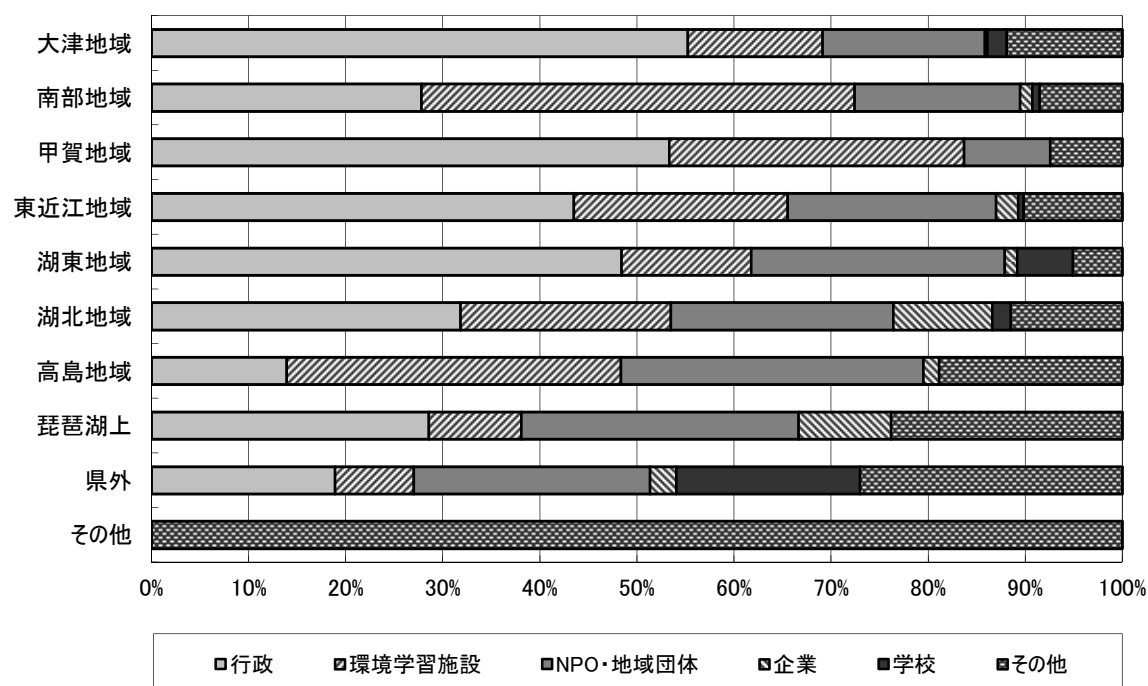
ア 実施地域別×実施主体別の実施状況

実施地域別および実施主体別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 36 および図表 37 のとおりです。「南部地域」では「環境学習施設」が実施する割合が高くなっています。これは、滋賀県立琵琶湖博物館、栗東自然観察の森や滋賀県立近江富士花緑公園といった環境学習施設が多く立地しているためと考えられます。県内の他の地域では「行政」が実施する割合が高くなっています。

(図表 36)

実施地域	行政	環境学習施設	NPO・地域団体	企業	学校	その他	合計(件)
大津地域	195	49	59	1	7	42	353
南部地域	111	178	68	5	3	34	399
甲賀地域	72	41	12	0	0	10	135
東近江地域	77	39	38	4	1	18	177
湖東地域	76	21	41	2	9	8	157
湖北地域	50	34	36	16	3	18	157
高島地域	17	42	38	2	0	23	122
琵琶湖上	6	2	6	2	0	5	21
県外	7	3	9	1	7	10	37
その他	0	0	0	0	0	1	1
合計(件)	611	409	307	33	30	169	1,559

(図表 37)



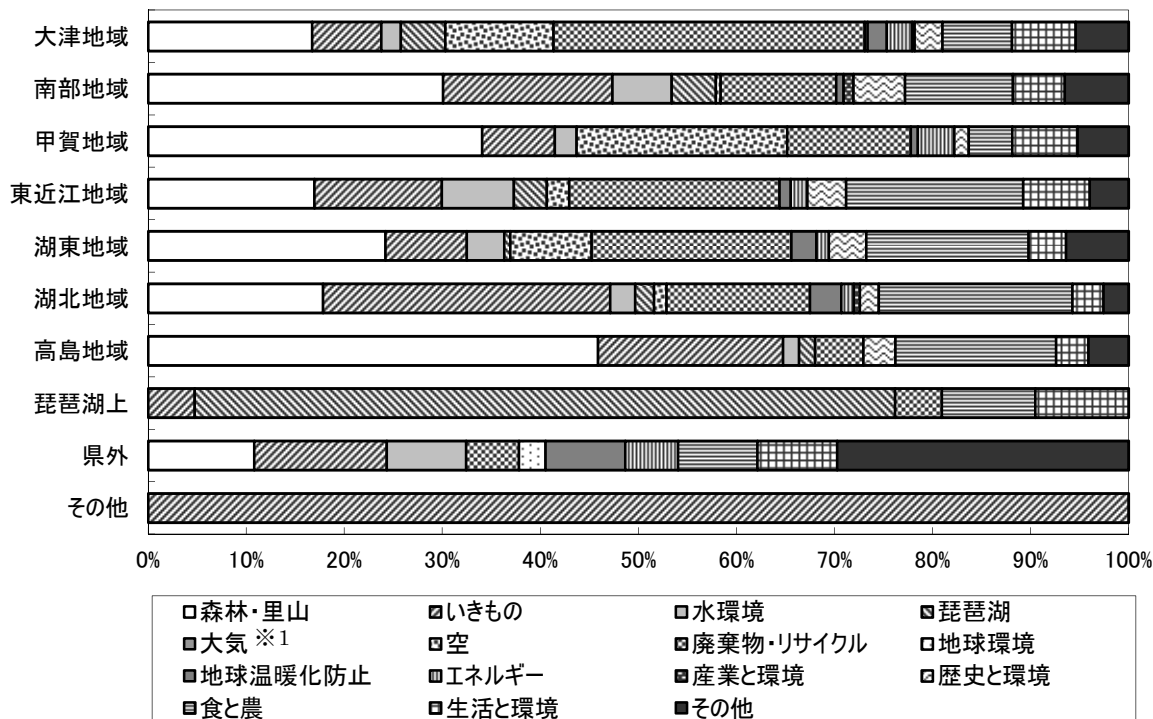
イ 実施地域別×分野別の実施状況

実施地域別および分野別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 38 および図表 39 のとおりです。「南部地域」では「森林・里山」、「湖北地域」では「いきもの」の分野をテーマとした環境学習関連イベント等の割合が高く、「高島地域」では、「森林・里山」の分野をテーマとした環境学習関連イベント等の割合が高くなっています。「大津地域」および「東近江地域」では「廃棄物・リサイクル」が最も多くなっています。

(図表 38)

実施地域	森林・里山	いきもの	水環境	琵琶湖	大気※1	空	廃棄物・リサイクル	地球環境	地球温暖化防止	エネルギー	産業と環境	歴史と環境	食と農	生活と環境	その他	合計(件)
大津地域	59	25	7	16	0	39	112	1	7	9	1	10	25	23	19	353
南部地域	120	69	24	18	0	2	47	0	3	0	4	21	44	21	26	399
甲賀地域	46	10	3	0	0	29	17	0	1	5	0	2	6	9	7	135
東近江地域	30	23	13	6	0	4	38	0	2	3	0	7	32	12	7	177
湖東地域	38	13	6	1	0	13	32	0	4	2	0	6	26	6	10	157
湖北地域	28	46	4	3	0	2	23	0	5	2	1	3	31	5	4	157
高島地域	56	23	2	2	0	0	6	0	0	0	0	4	20	4	5	122
琵琶湖上	0	1	0	15	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	21
県外	4	5	3	0	0	0	2	1	3	2	0	0	3	3	11	37
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計(件)	381	216	62	61	0	89	278	2	25	23	6	53	189	85	89	1559

(図表 39)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

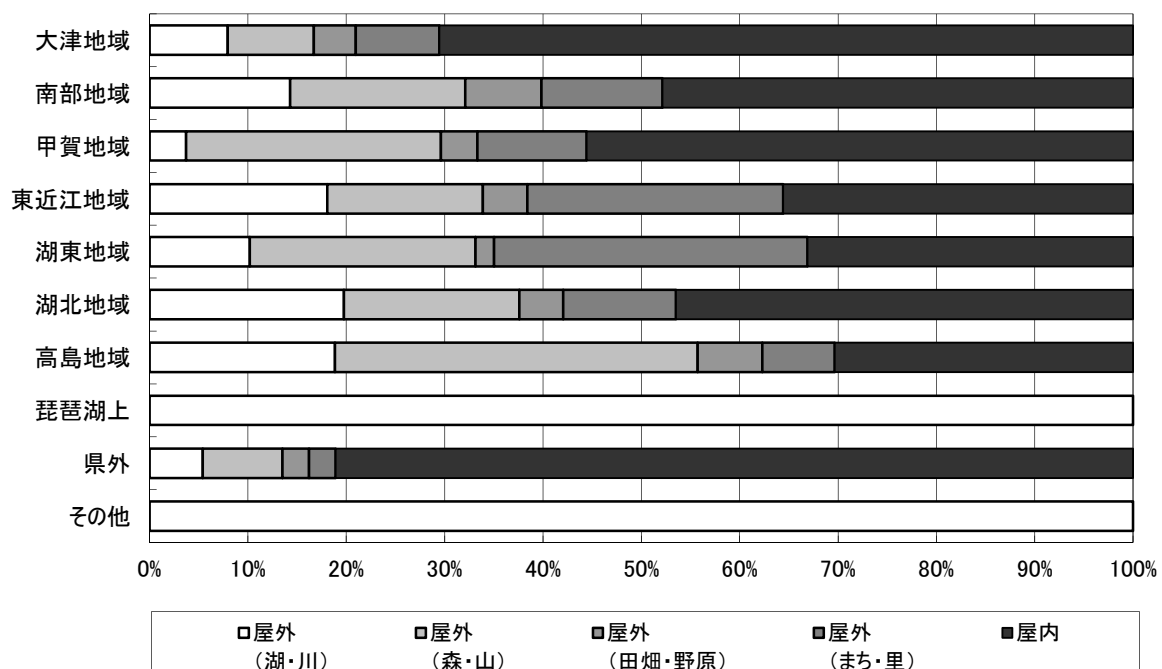
ウ 実施地域別×実施場所別の実施状況

実施地域別および実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 40 および図表 41 のとおりです。「大津地域」、「甲賀地域」、「県外」では「屋内」で実施される環境学習関連イベント等の割合が 5 割以上となっています。一方、「南部地域」、「東近江地域」、「湖東地域」、「湖北地域」、「高島地域」では「屋外」で実施される環境学習関連イベント等の方が多くなっており、特に「高島地域」では約 7 割を占めています。また、「甲賀地域」と「高島地域」では、「屋外」で行われる環境学習関連イベント等の中でも、「屋外(森・山)」で実施される環境学習関連イベント等の割合が高くなっています。

(図表 40)

実施地域	屋外 (湖・川)	屋外 (森・山)	屋外 (田畑・野原)	屋外 (まち・里)	(屋外合計)	屋内	合計(件)
大津地域	28	31	15	30	104	249	353
南部地域	57	71	31	49	208	191	399
甲賀地域	5	35	5	15	60	75	135
東近江地域	32	28	8	46	114	63	177
湖東地域	16	36	3	50	105	52	157
湖北地域	31	28	7	18	84	73	157
高島地域	23	45	8	9	85	37	122
琵琶湖上	21	0	0	0	21	0	21
県外	2	3	1	1	7	30	37
その他	1	0	0	0	1	0	1
合計(件)	0	216	277	78	789	770	1,559

(図表 41)



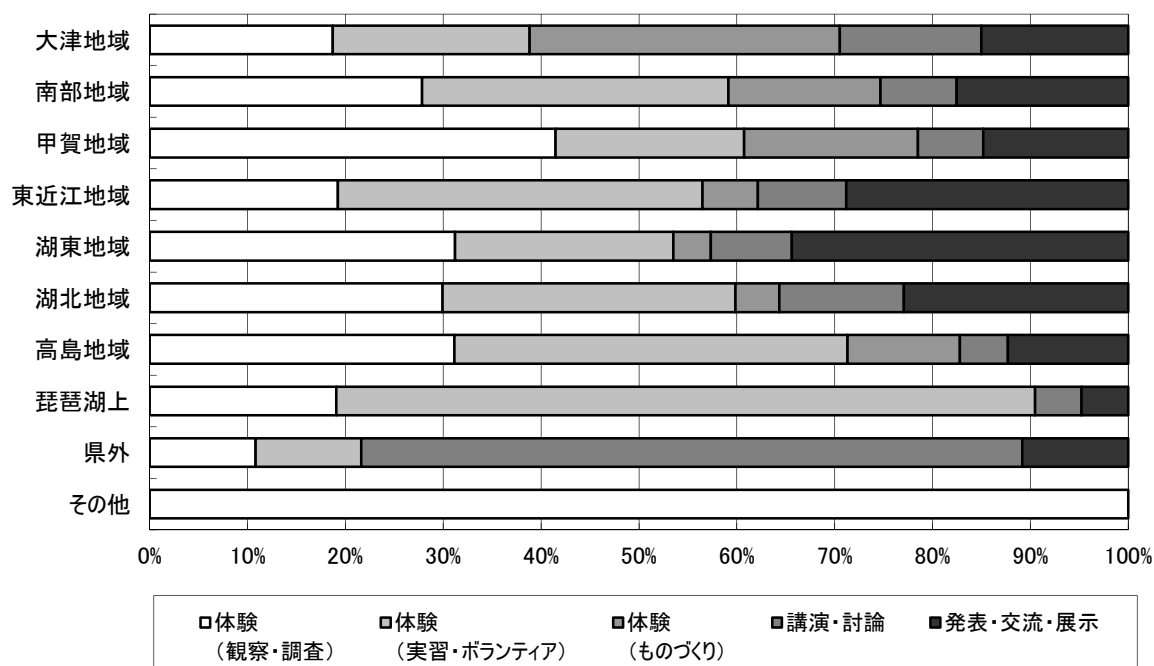
エ 実施地域別×実施形態別の実施状況

実施地域別および実施形態別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 42 および図表 43 のとおりです。県内のいずれの地域においても体験型の環境学習関連イベント等の割合が 5 割以上となっており、特に「高島地域」では 8 割以上を占めています。

(図表 42)

実施地域	体験 (観察・調査)	体験 (実習・ボランティア)	体験 (ものづくり)	講演・討論	発表・交流・ 展示	合計(件)
大津地域	66	71	112	51	53	353
南部地域	111	125	62	31	70	399
甲賀地域	56	26	24	9	20	135
東近江地域	34	66	10	16	51	177
湖東地域	49	35	6	13	54	157
湖北地域	47	47	7	20	36	157
高島地域	38	49	14	6	15	122
琵琶湖上	4	15	0	1	1	21
県外	4	4	0	25	4	37
その他	1	0	0	0	0	1
合計(件)	410	438	235	172	304	1,559

(図表 43)



⑤ 分野別開催状況のクロス集計

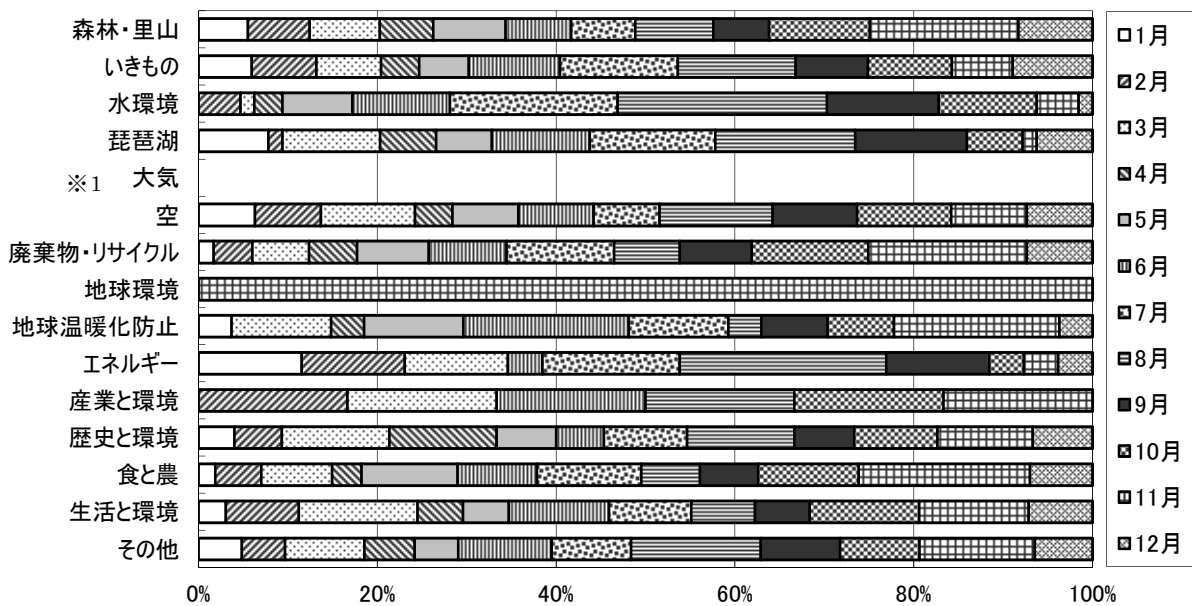
ア 分野別×開催月別の実施状況

分野別および開催月別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 44 および図表 45 のとおりです。「森林・里山」の分野では 10 月と 11 月に実施される割合が高くなっています。「いきもの」の分野では 6 月から 8 月に実施される割合が高くなっています。また、「水環境」や「琵琶湖」の分野では 7 月から 8 月に実施される割合が高くなっています。

(図表 44)

分野	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
森林・里山	24	30	34	26	35	32	31	38	27	49	72	36	434
いきもの	14	17	17	10	13	24	31	31	19	22	16	21	235
水環境	0	3	1	2	5	7	12	15	8	7	3	1	64
琵琶湖	5	1	7	4	4	7	9	10	8	4	1	4	64
大気※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
空	6	7	10	4	7	8	7	12	9	10	8	7	95
廃棄物・リサイクル	5	13	19	16	24	26	36	22	24	39	53	22	299
地球環境	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
地球温暖化防止	1	0	3	1	3	5	3	1	2	2	5	1	27
エネルギー	3	3	3	0	0	1	4	6	3	1	1	1	26
産業と環境	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	6
歴史と環境	3	4	9	9	5	4	7	9	5	7	8	5	75
食と農	4	11	17	7	23	19	25	14	14	24	41	15	214
生活と環境	3	8	13	5	5	11	9	7	6	12	12	7	98
その他	6	6	11	7	6	13	11	18	11	11	16	8	124
合計(件)	74	104	145	91	130	158	185	184	136	189	239	128	1,763

(図表 45)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

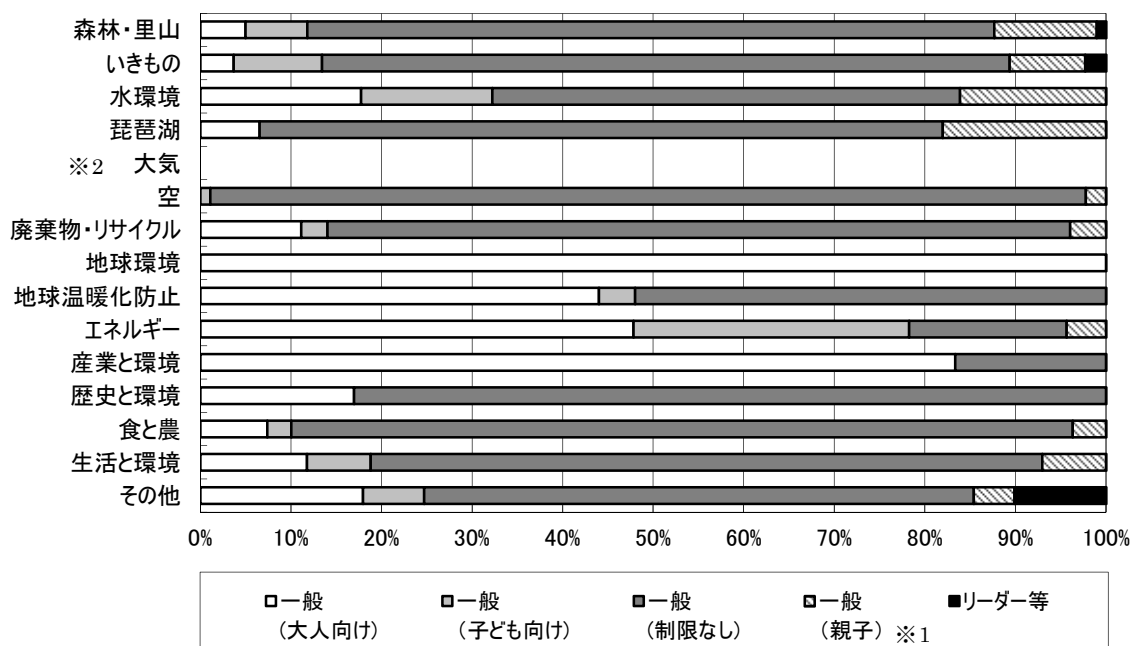
イ 分野別×対象者別の実施状況

分野別および対象者別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 46 および図表 47 のとおりです。「エネルギー」および「産業と環境」では「一般(大人向け)」の環境学習関連イベント等の割合が高くなっていますが、その他の分野では「一般(制限なし)」の割合が高くなっています。

(図表 46)

分野	一般 (大人向け)	一般 (子ども向け)	一般 (制限なし)	一般 ※1 (親子)	リーダー等	合計(件)
森林・里山	19	26	289	43	4	381
いきもの	8	21	164	18	5	216
水環境	11	9	32	10	0	62
琵琶湖	4	0	46	11	0	61
大気 ※2	0	0	0	0	0	0
空	0	1	86	2	0	89
廃棄物・リサイクル	31	8	228	11	0	278
地球環境	2	0	0	0	0	2
地球温暖化防止	11	1	13	0	0	25
エネルギー	11	7	4	1	0	23
産業と環境	5	0	1	0	0	6
歴史と環境	9	0	44	0	0	53
食と農	14	5	163	7	0	189
生活と環境	10	6	63	6	0	85
その他	16	6	54	4	9	89
合計(件)	151	90	1187	113	18	1,559

(図表 47)



※ 1 平成 25 年以降、従来の「一般(子ども向け)」から「一般(親子)」を分離して 5 区分に変更しました。

※ 2 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

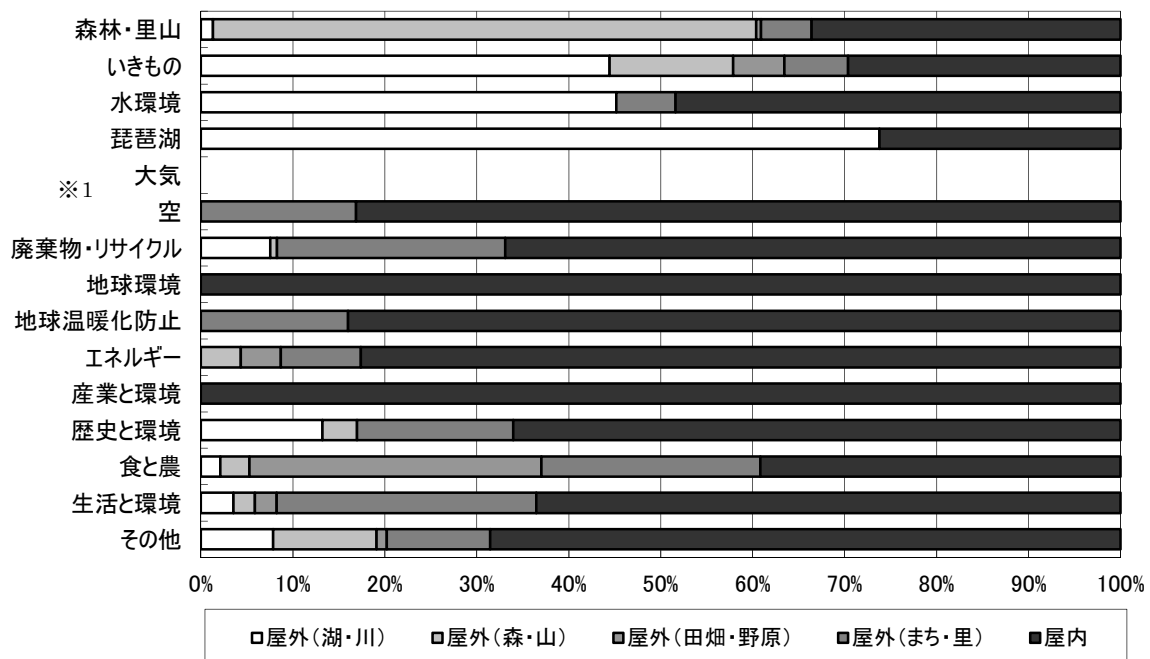
ウ 分野別×実施場所別の実施状況

分野別および実施場所別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 48 および図表 49 のとおりです。「森林・里山」、「いきもの」、「水環境」、「琵琶湖」および「食と農」の分野では「屋外」で実施される環境学習関連イベント等が「屋内」より多くなっています。「空」、「地球環境」、「地球温暖化防止」、「エネルギー」および「産業と環境」の各分野では、「屋内」で実施される環境学習関連イベント等の割合が 7 割以上となっています。

(図表 48)

分野	屋外 (湖・川)	屋外 (森・山)	屋外 (田畑・野原)	屋外 (まち・里)	(屋外合計)	屋内	合計(件)
森林・里山	5	225	2	21	253	128	381
いきもの	96	29	12	15	152	64	216
水環境	28	0	0	4	32	30	62
琵琶湖	45	0	0	0	45	16	61
大気 ※1	0	0	0	0	0	0	0
空	0	0	0	15	15	74	89
廃棄物・リサイクル	21	2	0	69	92	186	278
地球環境	0	0	0	0	0	2	2
地球温暖化防止	0	0	0	4	4	21	25
エネルギー	0	1	1	2	4	19	23
産業と環境	0	0	0	0	0	6	6
歴史と環境	7	2	0	9	18	35	53
食と農	4	6	60	45	115	74	189
生活と環境	3	2	2	24	31	54	85
その他	7	10	1	10	28	61	89
合計(件)	216	277	78	218	789	770	1,559

(図表 49)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

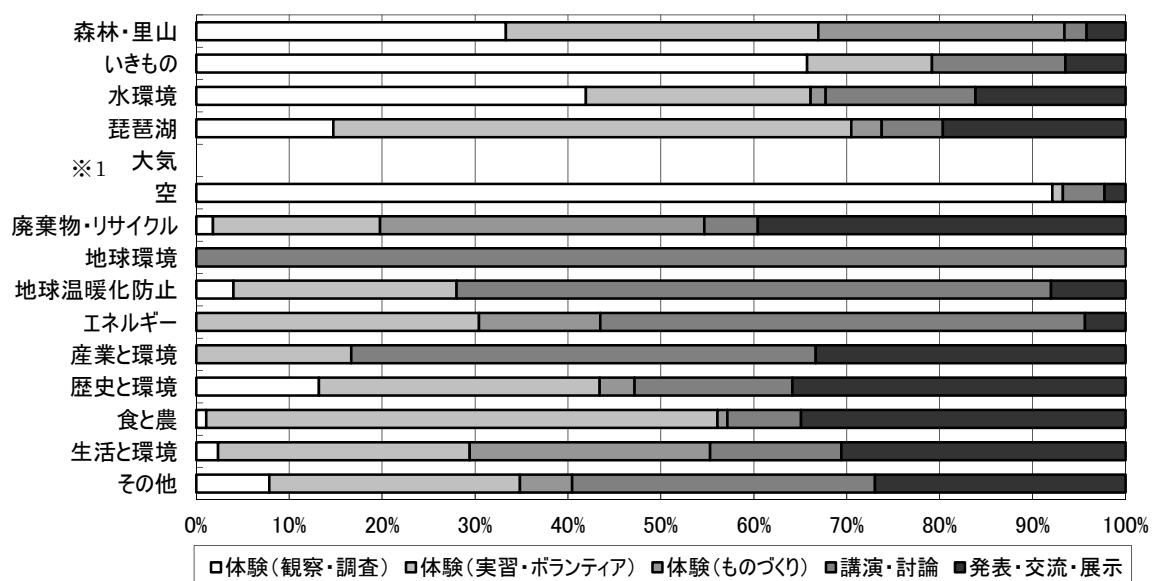
エ 分野別×実施形態別の実施状況

分野別および実施形態別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 50 および図表 51 のとおりです。「森林・里山」、「いきもの」、「水環境」、「琵琶湖」および「空」の各分野では、体験型の環境学習関連イベント等が占める割合が 6 割を越えています。また、「地球環境」、「地球温暖化防止」および「産業と環境」の各分野では「講演・討論」と「発表・交流・展示」の占める割合が 7 割以上となっています。

(図表 50)

分野	体験 (観察・調査)	体験 (実習・ボランティア)	体験 (ものづくり)	講演・討論	発表・ 交流・展示	合計(件)
森林・里山	127	128	101	9	16	381
いきもの	142	29	0	31	14	216
水環境	26	15	1	10	10	62
琵琶湖	9	34	2	4	12	61
大気 ※1	0	0	0	0	0	0
空	82	1	0	4	2	89
廃棄物・リサイクル	5	50	97	16	110	278
地球環境	0	0	0	2	0	2
地球温暖化防止	1	6	0	16	2	25
エネルギー	0	7	3	12	1	23
産業と環境	0	1	0	3	2	6
歴史と環境	7	16	2	9	19	53
食と農	2	104	2	15	66	189
生活と環境	2	23	22	12	26	85
その他	7	24	5	29	24	89
合計(件)	410	438	235	172	304	1,559

(図表 51)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。

⑥ 実施場所別開催状況のクロス集計

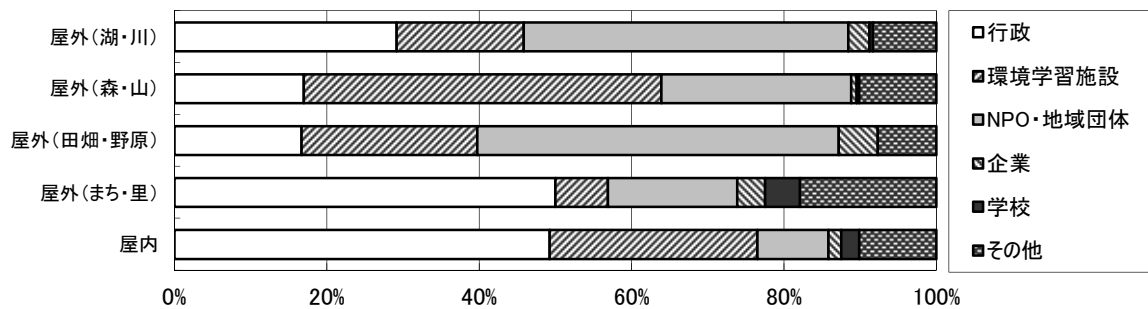
ア 実施場所別×実施主体別の実施状況

実施場所別および実施主体別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 52 および図表 53 のとおりです。「屋外(湖・川)」では「NPO・地域団体」が、「屋外(森・山)」では「環境学習施設」が、「屋外(まち・里)」では「行政」が、環境学習関連イベント等の実施主体となる割合が高くなっています。

(図表 52)

実施場所	行政	環境学習施設	NPO・地域団体	企業	学校	その他	合計(件)
屋外(湖・川)	63	36	92	6	1	18	216
屋外(森・山)	47	130	69	2	1	28	277
屋外(田畑・野原)	13	18	37	4	0	6	78
屋外(まち・里)	109	15	37	8	10	39	218
(屋外合計)	232	199	235	20	12	91	789
屋内	379	210	72	13	18	78	770
合計(件)	611	409	307	33	30	169	1,559

(図表 53)



Column: 高島森林体験学校 ～「エコロシーが」取材記録より(取材日 2015年12月6日)～

【高島森林体験学校とは】

森林に囲まれた山村とその森林が元気になるようにと、様々な体験活動を地域の方々と共に行っている団体です。

【主催事業】

○企業の CSR(社会貢献活動)としての森林体験活動に力を注いでいます

森の整備が近年強く言われています。間伐が進まず、森林の下層に光が当たらなくなり、下草が生えず、台風で土砂が流出する弱い森になっています。重ねて、増え過ぎたシカにより残った下草も食べられ、湧き水などの水質汚染もおこり、悪循環がさらに進んでいます。琵琶湖の水源地の荒れにもつながっていることを少しでも多くの人や団体に知ってもらおうと、企業のボランティア体験として利用してもらいたいと呼び掛けています。

○体験学習を実施しています

夏休みの炭焼き体験や木のお箸づくり、染物体験なども実施していますし、幼児期からの子どもの森林体験を積み重ねたいと幼稚園、保育園へ無料で木育を実施しています。森の動物に変身して登場したり、森の絵本を読んだり、幼児向けのプログラム開発を行っています。幼児期から学童期でのやまのこ活動につながるよう実践しています。

⑦ 実施形態別開催状況のクロス集計

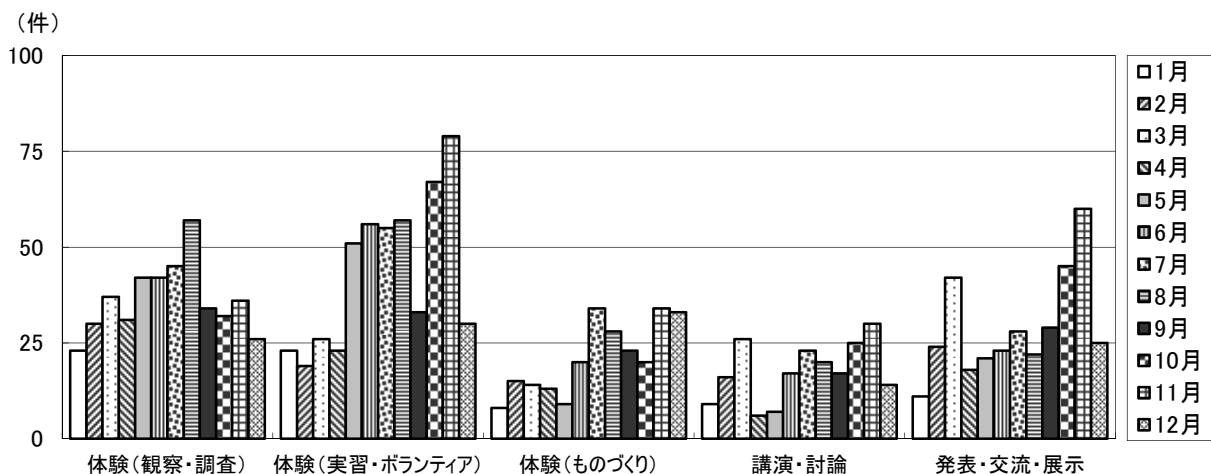
ア 実施形態別×開催月別の実施状況

実施形態別および開催月別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 54 および図表 55 のとおりです。「体験(観察・調査)」では5月から8月、「体験(実習・ボランティア)」では10月と11月、「体験(ものづくり)」では7月と11月および12月、「発表・交流・展示」では3月、10月および11月に実施される環境学習関連イベント等が多くなっています。

(図表 54)

実施形態	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
体験(観察・調査)	23	30	37	31	42	42	45	57	34	32	36	26	435
体験(実習・ボランティア)	23	19	26	23	51	56	55	57	33	67	79	30	519
体験(ものづくり)	8	15	14	13	9	20	34	28	23	20	34	33	251
講演・討論	9	16	26	6	7	17	23	20	17	25	30	14	210
発表・交流・展示	11	24	42	18	21	23	28	22	29	45	60	25	348
合計(件)	74	104	145	91	130	158	185	184	136	189	239	128	1,763

(図表 55)



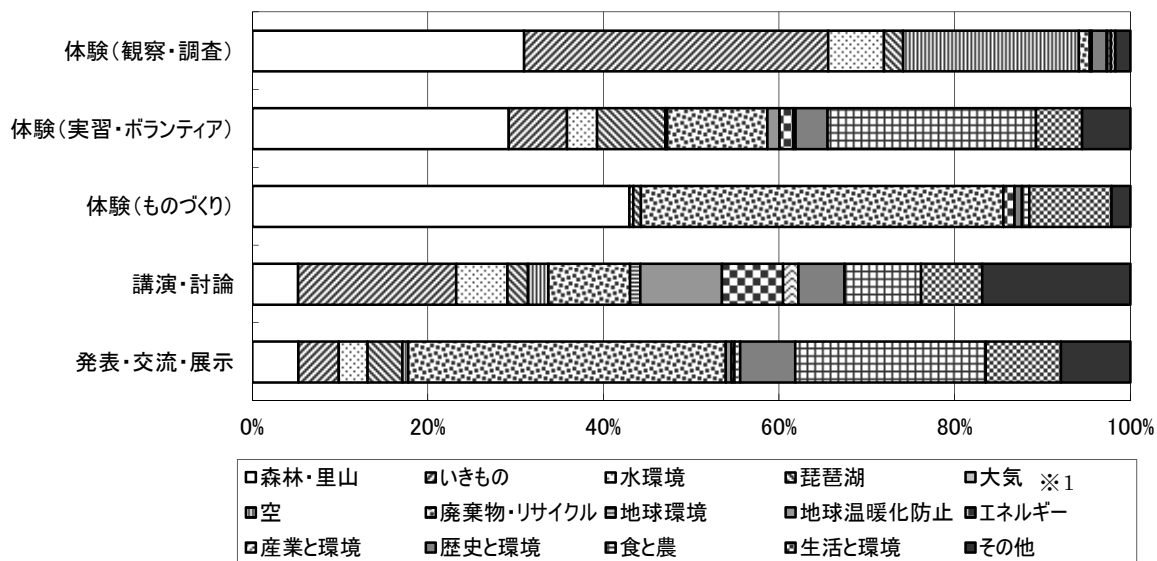
イ 実施形態別×分野別の実施状況

実施形態別および分野別にみた環境学習関連イベント等の実施状況は、図表 56 および図表 57 のとおりです。「体験(観察・調査)」では「森林・里山」、「いきもの」および「空」の分野で、「体験(実習・ボランティア)」では「森林・里山」と「食と農」の分野で、「体験(ものづくり)」では「森林・里山」と「廃棄物・リサイクル」の分野で、「講演・討論」では「いきもの」の分野で、「発表・交流・展示」では「廃棄物・リサイクル」と「食と農」の分野での環境学習関連イベント等の実施割合が高くなっています。

(図表 56)

実施形態	森林・里山	いきもの	水環境	琵琶湖	大気 ※1	空	廃棄物・リサイクル	地球環境	地球温暖化防止	エネルギー	産業と環境	歴史と環境	食と農	生活と環境	その他	合計(件)
体験(観察・調査)	127	142	26	9	0	82	5	0	1	0	0	7	2	2	7	410
体験(実習・ボランティア)	128	29	15	34	0	1	50	0	6	7	1	16	104	23	24	438
体験(ものづくり)	101	0	1	2	0	0	97	0	0	3	0	2	2	22	5	235
講演・討論	9	31	10	4	0	4	16	2	16	12	3	9	15	12	29	172
発表・交流・展示	16	14	10	12	0	2	110	0	2	1	2	19	66	26	24	304
合計(件)	381	216	62	61	0	89	278	2	25	23	6	53	189	85	89	1559

(図表 57)



※1 「大気」の分野は、調査対象(情報元)に掲載がなかったため平成 26 年の件数をゼロとしました。